

1日でマスター 会計の基本 ～様々な疑問点から会計の基本を学ぶ～

会計をはじめとした会社の数値関係はビジネスパーソンの必須スキルと言われていますが、数字はどれも苦手、会計になるともっとわからなくなるという声をよく聞きます。数字や会計は正確に合わないといけないのではないのかと多くの人が思われていますが実際のところはそうでもありません。むしろ大きな視点から俯瞰的に数字や会計を見る方が取引の実態、会社の実態をより把握できる事になると思います。

また、聞いたことがあっても内容がよくわからないという会計用語は多くあります、本講座では特に、内容が謎で結局のところ内容がよくわからないと言われる減価償却、引当金、資本金の仕組みを解説していきます。

本講座では、会計を専門用語からではなく、普段使っている言葉から表現していきます。その上で、実際の取引は会計上どのような意味を持っているかを学んでいただき、最終的に損益計算書、貸借対照表につながる流れはどのようになっているのかを身に付けていただくことをゴールとします。

1. 売上はどのように計算されているのか

- ・「儲かりますか？ボチボチでんな。」
～儲かるってどのような状況のことなのか
- ・会社の経営成績ってどのようにわかるのか
～年商100億と利益5億はどちらが凄いのか
- ・売上はいつ売上とするのか（納品か入金か）
～月末締め、翌月末払いの仕組み
～売掛金、受取手形のしくみ

（事例研究）納品時に売上計上と入金時に売上計上だと何が違うのか

2. コストはどのように計算されているのか

- ・会社の活動に必要な様々なコストの計上はどのように行われるのか
～人件費、旅費交通費、広告宣伝費、支払利息等
- ・在庫を仕入れた時、保有している時、納品した時にどのように変化するのか。

（事例研究）売上原価というコストのしくみ

（事例研究）仕入れ時にコストに計上されると何が問題なのか

～買掛金、支払手形、未払金の仕組み

3. 損益計算書の基本的な仕組み

- ・損益計算書はどのように利用されるのか
- ・損益計算書の5つの利益

（事例研究）基本的な税金の計算方法

(事例研究) 様々な会社の損益計算書をみてる

銀行、商社、メーカー

4. 独特な会計処理の検討

- ・何年にもわたって使う設備はどのように会計に反映されるのか

(会計の謎1) 減価償却

(事例研究) 定額法と定率法による減価償却

(事例研究) 減価償却がない世界ではどうなるのか

- ・引当金って何のためにあるのか

(会計の謎2) 引当金

- ・引当金の基本的な仕組み

～現金支出を伴わないコストとは

(事例研究) 退職金の事例で見る引当金の必要性

(事例研究) 引当金がないとどうなるのか

～損失の発生で見る引当金のしくみ

5. 貸借対照表の基本的なしくみ

- ・資産、負債、純資産とは何か

- ・貸借対照表は資金の動きから見る

- ・ヒト、モノ、カネと決算書の関係は

- ・借入金を借りた場合と返した場合

(事例研究) 借入金の返済はコストにならない

- ・資本金って一体何か

(会計の謎3) 資本金

- ・稼いだ利益はだれのものか

(事例研究) 様々な会社の貸借対照表をみてる

銀行、商社、メーカー

以上